



Aisan



目次

- 会社概要 1
- トップメッセージ 2
- 特集
- 環境にやさしい製品開発 3・4

環境報告

- 環境取組みプラン2020 5・6
- 温暖化防止の取組み 7
- 資源循環の取組み 8
- 物流合理化の推進 9
- 環境負荷物質の管理 10
- 生物多様性への取組み 10
- 環境経営 11～13
- 各工場環境データ 14

社会性報告

- コーポレートガバナンス 15
- お客様とともに 16
- サプライヤーとともに 16
- 株主・投資家との対話 17
- 従業員とともに 17
- 地域社会とともに 18

編集方針

本報告書は見やすくシンプルをコンセプトに、愛三グループの社会との関わり、環境活動を報告し、ステークホルダーの皆さまとより良いコミュニケーションを図ることを目的に作成しています。

対象期間

2017年4月～2018年3月
*一部対象期間外の内容も紹介しています

対象範囲

愛三工業株式会社および連結子会社

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
「環境会計ガイドライン2005年版」

TOP MESSAGE

技術とものづくりで 持続可能な社会へ貢献

取締役社長

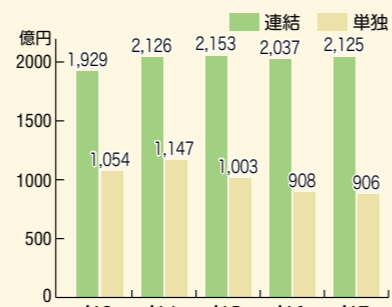
野村得え



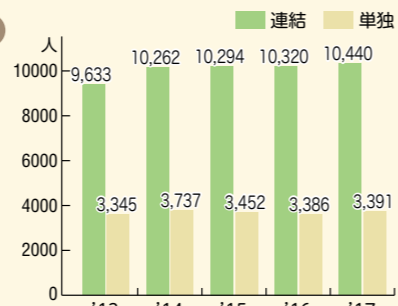
会社概要

社名	愛三工業株式会社
設立	1938年12月
本社所在地	愛知県大府市共和町一丁目1番地の1
主な事業内容	自動車部品の製造・販売
資本金	106億円(2018年3月31日現在)
国内工場(単独)	本社、安城、豊田
海外関係会社	21社
国内関係会社	7社

売上高

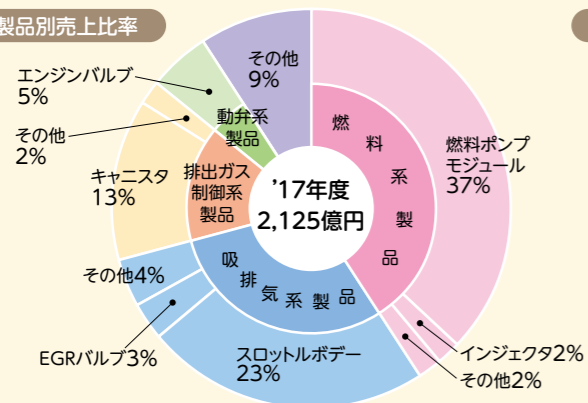


従業員数

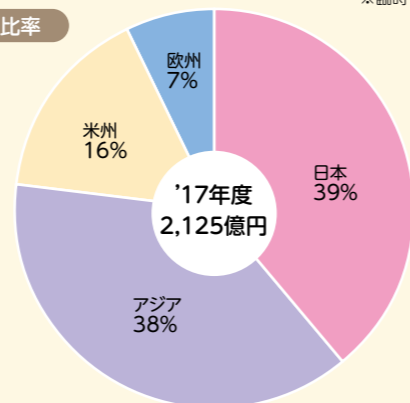


※臨時従業員含む

製品別売上比率



地域別売上比率



愛三工業は1938年の創業以来、80年の長きに渡りクルマの重要機能部品メーカーとして安全で地球環境にやさしい製品を提供し、広く社会に貢献してきました。

自動車業界は、かつてない大きな変革期にあり、競争は国や業界を越えてますます激化すると思われませんが、技術とものづくりで社会に役立ちたい、という私たちの信念はいつの時代も変わることはありません。

私たちは「環境取組みプラン2020」に基づき、環境負荷低減活動に取り組むとともに、新たに2030年を見据えた中長期のCO₂削減シナリオの策定にこのほど着手いたしました。今後も引き続き、ステークホルダーの皆様信頼される企業として成長し、社会に貢献できるようグループ一体でまい進していきます。

経営理念

1. お客様第一の心で商品を創り
2. 知恵と技術で高品質を実現し
3. 人を大切にする明るい職場を築いて

企業の繁栄と豊かな環境作りで
社会に貢献する

特集 環境にやさしい製品開発

NEW ブラシレス燃料ポンプ 省電力・長寿命、世界燃料に対応

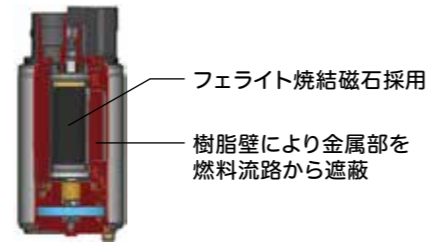
燃料をエンジンに圧送する燃料ポンプは、省電力・長寿命・静粛性、さらには直噴エンジンに対応する高圧化といったニーズに応え、駆動モータのブラシレス化が進んでいます。また、世界の一部地域では、粗悪な燃料による錆の発生が問題になっていることから、ブラシレスで錆にも強い新型燃料ポンプを開発しました。

新製品は、錆に強いフェライト磁石を採用し、金属部品が燃料に触れない構造にするなど耐食寿命を向上。省電力・長寿命のポンプを世界中のさまざまな燃料でも使えるようにしました。

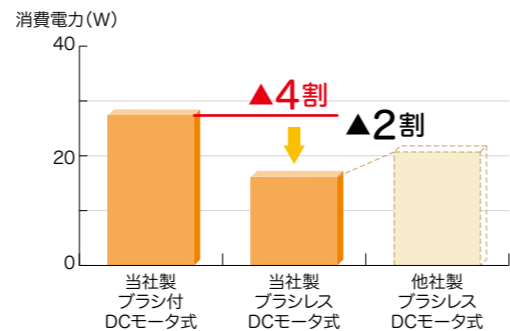


生産：豊田工場

◆世界燃料対応(耐食寿命向上)



◆モード域の電力



トヨタ「JPN TAXI」に採用



開発者に聞く

先行技術開発室 本田 義彦
お客様にニーズを確認しながら開発に取り組み、世界燃料対応という隠れたニーズを当社製品の付加価値として具現化できました。燃料ポンプは人命に関わる製品。市場で粗悪と言われる燃料でも万が一は許されません。これからもニーズを先取りし高品質な製品開発をめざします。

新興国の環境改善に貢献

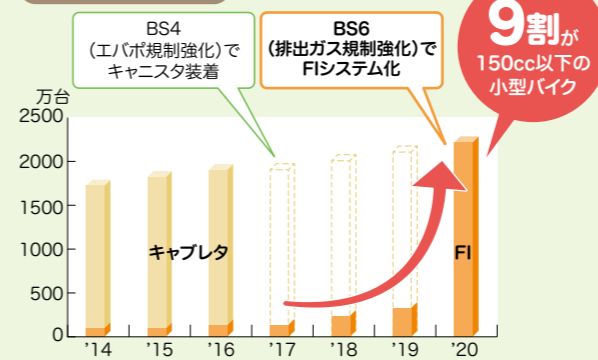
二輪大国 インドでFI製品拡販

世界最大の二輪大国インドでは、環境規制の波が到来しています。当社はASEANで実績のあるFI製品をインド市場でも積極的に拡販し、環境改善に貢献していきます。



背景 インドの環境規制とFI化

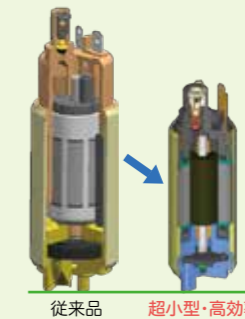
インド二輪販売予測



- 2020年に新たな排出ガス規制 (BS6) が導入予定
- キャブレタでは規制クリアできないため、電子制御燃料噴射 (FI) への切り替えが必須
- 当社製品は150cc以下のボリュームゾーンをカバー

二輪用燃料ポンプ 2つのうれしさ

超小型ブラシレス燃料ポンプは、インドで9割を占める150cc以下の小型バイクに適合する最適な流量サイズ。燃料ポンプモジュールとしても小型で搭載しやすいことが現地でも高く評価されています。



60%軽量化
40%省電力化

※当社従来品比

◆エンジンの進化に貢献

吸気系・燃料系製品

燃料を効率よく燃焼させ、燃費向上と排出ガス低減に貢献します。



燃料蒸発ガス制御系製品

タンク内のガソリン蒸気を吸着し、大気への拡散を抑制します。



動弁系製品

耐熱性と軽量化を両立し、燃費向上に寄与しています。



二輪用製品

小型・高効率な燃料ポンプ・モジュールを始めとする電子制御燃料噴射 (FI) システム製品などをラインナップしています。



◆動力源の多様化に対応

ガス燃料製品

環境に優しいLPガスなどを効率よく燃焼させるための噴射システムです。

LPG-HV用システム



燃料電池車 (FCV)

燃料電池へ供給される水素の圧力と流量を制御します。



環境報告

環境取組みプラン2020の推進

愛三グループの環境取組みプラン2020(2016~2020)では、温暖化防止、資源循環、自然との共生、環境経営の4方針に基づき、さまざまな活動を推進しています。



温暖化防止 環境性能に優れた製品の開発と生産・物流活動におけるCO₂の低減を推進します。

環境にやさしい製品開発 →P.3

▶ トップクラスの燃費性能と各国規制への対応



▶ 次世代エコカー開発に貢献する製品開発



生産活動におけるCO₂低減 →P.7

▶ モノづくり改善の推進
▶ 高効率設備・機器の導入



物流活動におけるCO₂低減 →P.9

▶ お客様の近くで生産
▶ 容器・輸送ルートの見直し
▶ 低燃費運転の指導

2020年度目標 CO₂排出量

総排出量 90年度比 **34.0%減**(単独)
原単位※1 08年度比 **20.1%減**(単独)
08年度比 **8.9%減**(連結)

※1: 当社の生産とは直接関係しない材料費などを売上高から除いた金額で除した値

2020年度目標 輸送CO₂排出量

総排出量 08年度比 **19.9%減**
原単位※2 08年度比 **12.5%減**

※2: 荷物1mを1km運んだ場合のCO₂排出量

環境経営

愛三グループの環境マネジメントを強化・推進します。

▶ 各国・地域の環境基準に対応
▶ グローバルな連携・教育・コミュニケーション



→P.11~14

愛三工業 環境方針

理念

愛三工業は、あらゆる動力源の流体制御技術を核とした製品の開発・製造を通じて、お客様に感動をお届けできる企業をめざし、社会・地球の持続可能な発展に貢献します。
その実現のため、「環境保護」が事業活動の最重要課題の一つであると位置づけ、積極的に推進します。

方針

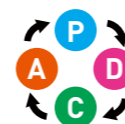
1. 環境に関する法律、条例などを順守するとともに、地域社会との対話を大切にし、地域との環境調和をはかり、自然と共生できる社会に貢献します。
2. 事業活動に伴う環境負荷を可能な限り少なくすることを経営の最重要課題の一つとして捉え、環境パフォーマンス向上のために、目的および目標を設定し、維持・管理します。
3. 事業活動、製品、サービスに係わる環境影響を的確に捉え、汚染防止と循環型社会の実現をはかるために、省エネ、省資源並びに生産活動及び製品中の環境負荷物質の低減に積極的に取り組みます。
4. 本方針を全従業員に周知徹底し環境保護に関する意識を高め、自覚と責任を持って継続的な改善に努めます。

資源循環

ムダな資源の発生抑制や廃棄物の資源化など、改善活動を推進します。

生産活動における資源の有効利用 →P.8

▶ モノづくり改善 ▶ 産業廃棄物低減



2020年度目標 廃棄物排出量

原単位※1 08年度比 **34.9%減**

▶ 埋立廃棄物排出量「ゼロ」の継続
▶ 水使用量の低減



物流活動における資源の有効活用 →P.9

▶ 収容数向上
▶ 最適梱包
▶ 梱包材の3R



2020年度目標 梱包資材使用量

原単位※3 08年度比 **12.2%減**

※3: 荷物1mあたりの梱包資材使用量

自然との共生

事業活動を行う各国・地域で、自然との共生をめざした活動を推進します。



中長期CO₂削減シナリオ策定へ

近年の世界的な気候変動に対応し、新たに2030年までの中長期CO₂削減シナリオの策定に取り組んでいます。これまで以上に長期的な目線で目標を設定し、グループを挙げて温暖化の抑制に貢献していきます。



温暖化防止の取組み

◆省エネ活動の推進

2017年度はCO₂の排出量と原単位ともに目標未達となりましたが、2020年度の目標達成やその先の将来に向け、一層の省エネ活動を推進していきます。エネルギーのあらゆるムダの排除を追及するとともに、生産工程や設備に対しても、継続して改善を進めていきます。

●省エネニュースの発行

定期的に『省エネニュース』を発行し、従業員の省エネ意識の高揚を図っています。省エネニュースは、社会情勢などのトピックスや社内の改善事例、省エネのための豆知識など、タイムリーな情報を掲載しています。

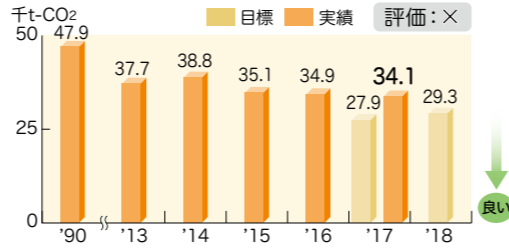


●効率のよいエネルギー供給

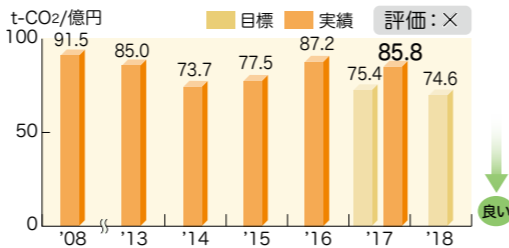
安全で安定したエネルギーを安心して使用するために

- エネルギーを必要とする部署からの『エネルギー供給依頼書』を基に週単位で供給プログラムを作成し運用しています。
- 管理基準を設定し、基準から外れると自動で異常警報が発令するシステムを構築しています。
- 設備は中長期計画に基づき、高効率機器へ更新を推進しています。

CO₂排出量



CO₂排出量原単位



◆主な改善事例

本社工場 執務室空調の省エネ

本館の執務室や会議室の空調を一元管理できる集中管理システムを導入し、消し忘れ等のムダを防止

システム概要

- (運転監視) 運転状況、設定温度、吸い込み温度等
- (運転管理) スケジュール管理、空調異常検知

効果
CO₂低減量 8t-CO₂/年

安城工場 ムダな設備動作の削減

搬送ローダーの動作を改善し、サイクルタイムを短縮

効果
CO₂低減量 12t-CO₂/年

豊田工場 ムダなエアーの削減

除電用のエアブローをワークがセットされた時のみの間欠ブローに変更

効果
CO₂低減量 17t-CO₂/年

ANI(インドネシア) 生産ライン照明のLED化推進

2018年内にはLED化が完了予定

効果
CO₂低減量 7.9t-CO₂/年

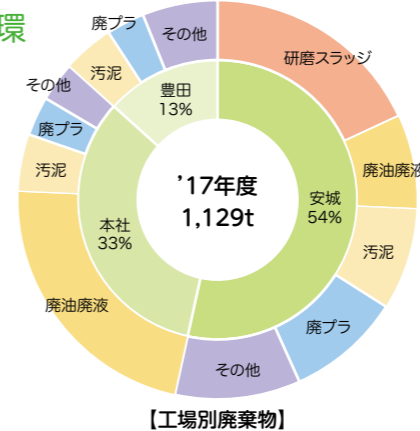
資源循環の取組み

◆省資源活動の推進

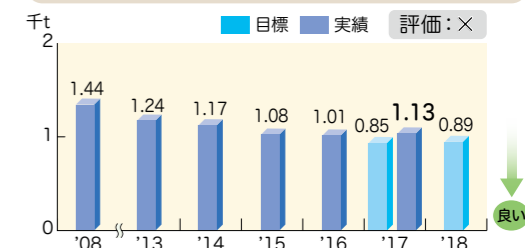
2017年度は、本社工場の生産ラインの再編成や中国の廃プラ輸入規制の影響等により、廃棄物排出量が増加しましたが、これからも、ムダな資源の発生抑制や廃棄物の資源化などの改善活動を推進していきます。

●工場排出物の資源循環

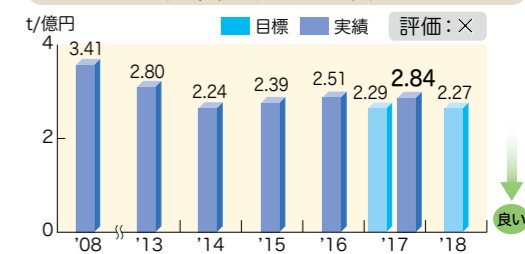
各工場には排出物を資源循環させるための施設として、リサイクルヤードを設置しています。生産工程等からの排出物を分別し、一時保管後、専門業者で資源化しています。



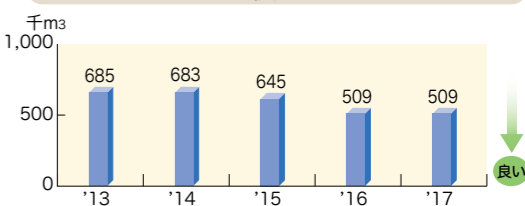
廃棄物排出量



廃棄物排出量原単位



水使用量



◆水使用量の低減

当社は、生産工程をはじめ、沢山の水を利用しています。従業員に対して、水資源の大切さと将来のリスクを認識させ、使用量低減につながる改善活動を推進していきます。

◆主な改善事例

安城工場 切断プレスワークの排出改善

切断後のワーク姿勢を安定化させるガイドの形状・材質を工夫して落下を防止

効果
資源ロス低減量 0.33t/年 減

私の思い
(担当者の声)
安城工場 第1製造部
班長 長谷川 和哉



QCサークル活動でやり切り、達成感！
QCサークルのみんなで、意見を出し合い、ガイド形状、材質をトライ&エラーで粘り強く試行しました。あきらめず取り組んだことで、設備異常停止をゼロにすることができ、大変良かったです。

豊田工場 研削クーラントの長寿命化

水溶性クーラントに混入した機械油を分離

効果
資源ロス低減量 7.6t/年 減

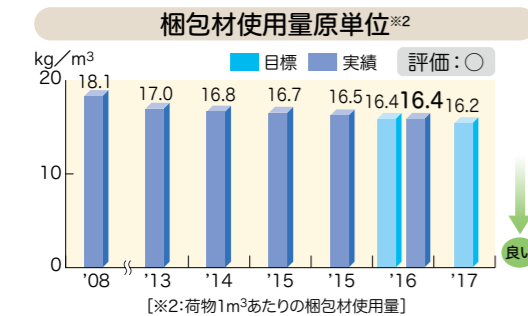
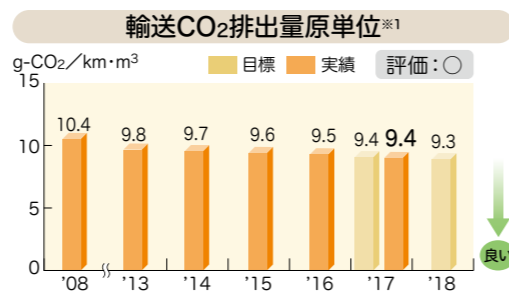
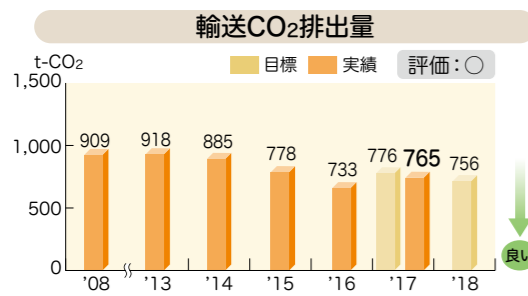
AFA(中国佛山市) 水溶性廃油の社内処理

濃縮機とRA膜処理を導入し、浄化した処理水は工場緑地の散水に利用

効果
廃棄物低減量 ▲540t/年

物流合理化の推進

製品の物流において、トラックが排出するCO₂と梱包資材の低減を推進しています。安全で効率的な物流ができるよう、物流状況の点検と調査を日々実施しています。




私の思い

(担当者の声)
グローバル生産管理部 生産管理室
田中 克典

物流合理化とエコとの融合

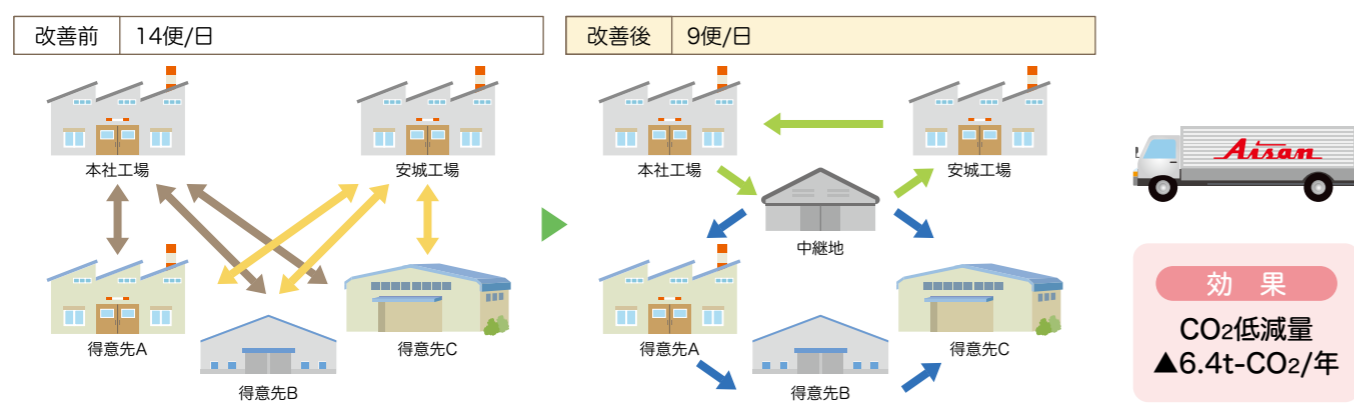
日々変動する荷量に対して柔軟に対応するため、社内および輸送業者と連携し、効率のよい物流をめざしています。今年度はこれらの取組みが評価されて社内表彰を受けることができました。



◆主な改善事例

1 輸送CO₂低減

●積載率の向上で輸送の効率化
中継地で積荷の集約と荷量調整を行うことにより、便数を最少化



2 梱包資材低減

●製品収容トレーの改善
海外輸送用に最適設計し、収容効率3割向上、輸送コスト2割低減



環境負荷物質の管理

◆化学物質の適正管理

社内で使用される化学物質は、導入計画時に環境面と安全面について審査を行い、人や環境に影響が出ないよう使用方法や管理方法、廃棄方法を明確にしています。

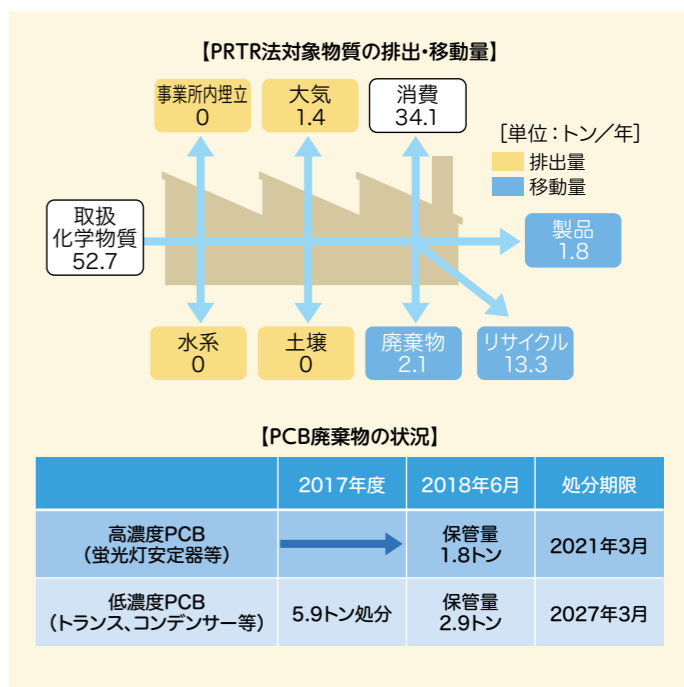
●PRTR法対象物質について

PRTR法：環境負荷物質の自主的な管理を促進する法律

2017年度は、2016年2月に竣工した広瀬テクニカルセンターが本格稼働しました。ここでは、製品試験で使用するガソリンやトルエンを主に取り扱っています。大気への放出等、環境に影響が無いよう厳格に取扱いと保管をしています。

●PCB廃棄物について

PCBが含まれる高圧トランスやコンデンサーなど、法令に基づく厳重な管理と行政への適切な報告を行っています。2017年度は安城工場の低濃度PCB使用機器約5.9トンを適切に処分しました。



生物多様性への取組み

◆自然共生活動

各工場では、地域の自然との共生をめざした活動を積極的に行っています。

●オールトヨタ グリーンウェーブプロジェクトに参画
自然保護活動の輪を広げる活動に参加しています。プロジェクトの活動は下記のホームページで紹介されています。
www.all-toyota-gwp.jp




豊田工場の森づくり活動 (豊田市西広瀬町)


『地域防災』と『里山の再生』をめざして

自然の猛威、東海豪雨からの学び
2000年9月の東海豪雨では、矢作川流域にも甚大な浸水被害をもたらし、荒れた山林の崩壊が大きな災害につながることを改めて知らされました。

2016年11月から森づくり活動をスタートしました
豊田市から工場周囲の市有林を借用し、間伐や倒木整備などを行っています。災害に強く、生物多様性が豊かな森をめざして、活動を続けていきます。



山間部への緩衝地域に位置します 豊田工場 矢作川



間伐材を利用して遊歩道づくり 斜面の階段づくり 豊田市と連携して、排水機能の回復もできました

環境経営

●愛三グループ環境経営の推進

国内外グループ会社とともに環境取組みを推進しています

愛三工業グループ会社では、環境方針と環境取組みプランを共有し、環境マネジメントシステムに則り、環境目標の達成に向け、取組みを推進しています。

また、法令順守や環境パフォーマンス向上のための情報共有や意見交換などを定期的に実施しています。



国内グループ会社環境会議

●愛三グループ環境管理

各国、各地域の環境保全活動を推進しています

国内子会社や海外子会社と環境目標や課題、活動方針などを共有しながら、それぞれの地域に適した活動を進めています。各生産拠点は、ISO14001の認証の取得と運用をしています。また、認証取得できていない新しい生産拠点では、認証取得の準備を進めています。

環境管理対象

Europe

アイサン インダストリー フランス(AIF:フランス)
アイサン インダストリー チェコ(AIC:チェコ)

Asia

アイサン ナスモコ インダストリ(ANI:インドネシア)
玄潭産業株式会社(HIC:韓国)
愛三(天津)自動車部品有限公司(ATA:中国)
愛三(佛山)自動車部品有限公司(AFA:中国)
アイサン オートパーツ インディア(AAI:インド)

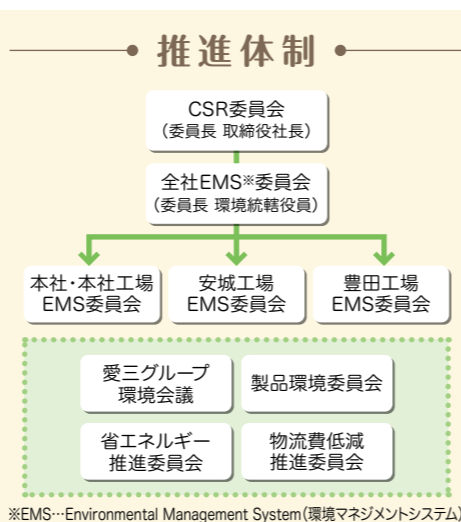
North America

フランクリン プレジジョン インダストリー(FPI:アメリカ)
アイサン オートパーツ メキシコ(AAM:メキシコ)

Japan

愛三工業株式会社
テイケイ気化器株式会社
日本超硬株式会社
株式会社中京治具
愛三熊本株式会社

○ : ISO14001認証取得



◆法令の順守と環境リスクの低減

日常管理の徹底とリスクの低減活動を行っています
環境側面評価で特定された著しい環境側面に対して、リスクレベルを評価し、リスクに対応して、管理の強化と改善を推進しています。

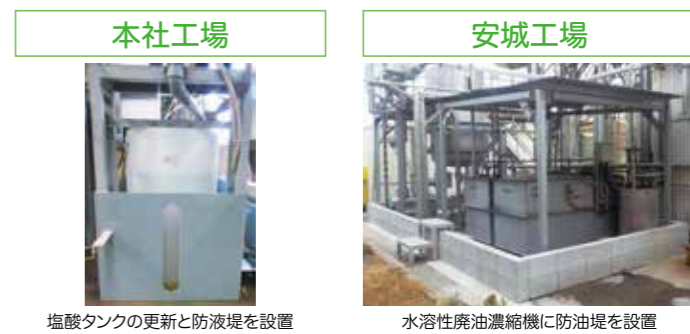
●環境基準の順守

工場排水・廃液を見える化しました

工場排水の水質やボイラーなどの排出ガス、工場騒音・振動など、法定基準を確実に守っていくための活動を行っています。特に水質の維持管理のため、生産工程からの汚水・廃液の全てを見える化し管理するしくみをつくりました。

【汚水・廃液の登録制度】

排出部署	環境推進室	施設管理室 工場管理課	環境推進室
汚水・廃液 新規/変更 事案発生	内容確認 ・水質確認	処理方法の 検討と決定	内容確認 と登録



塩酸タンクの更新と防液堤を設置

水溶性廃油濃縮機に防液堤を設置

●緊急用備品の一点検

汚水・廃液が万が一流出したときに速やかに対応できるように、各所に緊急用備品を設置しています。
2017年度は保管状況や日常点検の状況等について一点検を行いました。

緊急用備品(本社第1工場)

◆環境教育／訓練・コミュニケーション

新入社員に対する教育から専門的な教育まで、必要に応じた教育を計画的に実施しています。



新入社員導入教育

環境啓蒙教育(環境展)

緊急対応訓練

海外ローカルスタッフ研修

topic “ムダ取り隊”

メンバーは女性16名。
女性の視点で社内のムダ取りに挑戦しました。

- 目的
- (1) 従業員の“ムダ”に対する意識向上
 - (2) 会社のムダを取り除き、収益改善に貢献

3つの視点で活動

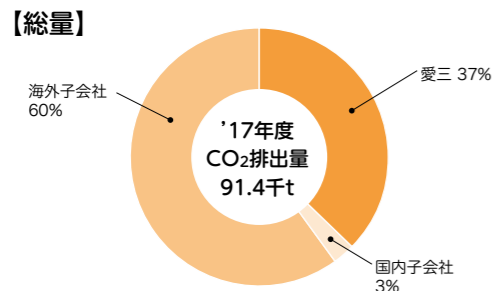
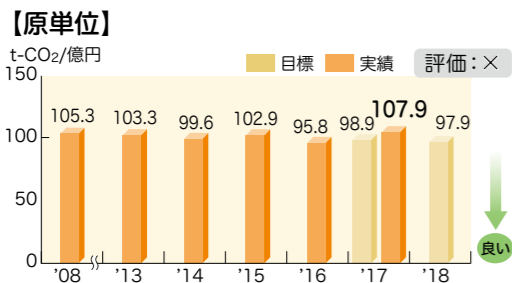
- 省エネ**
 - 省エネパトロール隊の巡回
 - パソコン、照明、空調、トイレなどを点検
- エコ意識の向上**
 - ムダ取り隊活動の展開
 - エコクイズなど
- 省資源**
 - 機密資料の分別徹底
 - 古着のウェス利用
 - 事務用品のリユース

今後の目標

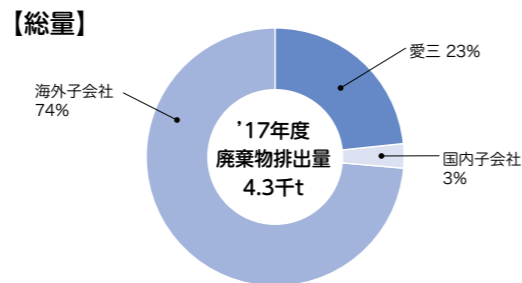
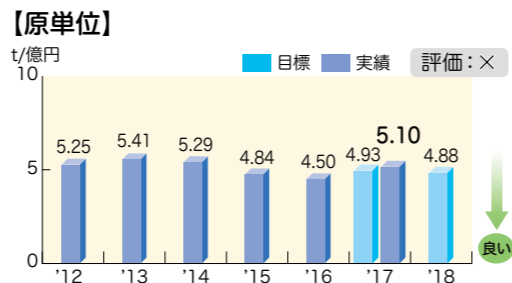
「女性メンバーによるムダ取り隊」は会社にとって初めての試みでした。地道に活動を続けて、社内に周知され、会社全体が一つになって、協力し合える活動になることが最終的な目標です。



愛三グループのCO2排出量



愛三グループの廃棄物排出量



社会性報告

信頼される企業であるために

CSR基本方針に基づき、地域社会から信頼・共感される企業をめざし事業活動を進めています。ステークホルダーの声や社会のニーズに応えながら、環境にやさしい製品づくりを通じて、地球環境の未来に貢献します。

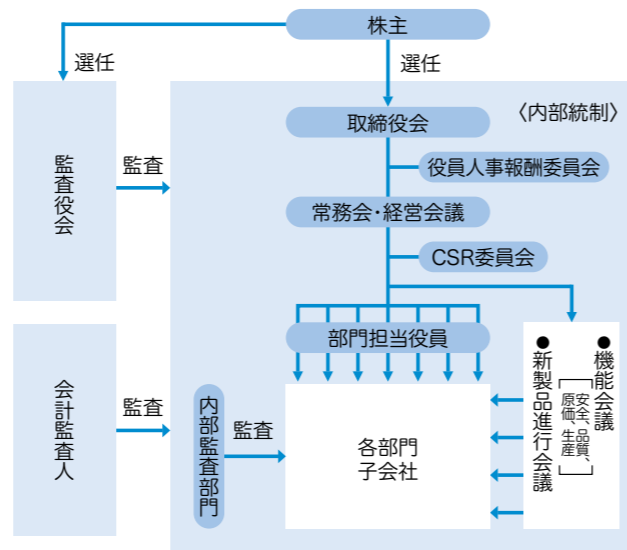


コーポレートガバナンス

当社はコーポレートガバナンス基本方針のもと、経営の効率化と公平性・透明性の維持・向上に努めています。企業価値の向上へ、本社機能およびグループ各社のレベルを高め、コーポレートガバナンスの充実を進めています。

コーポレートガバナンス基本方針

1. 株主の権利・平等性の確保
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
3. 適切な情報開示と透明性の確保
4. 取締役会の責務
5. 株主との対話



コーポレートガバナンス体制

◆コンプライアンスの強化

従業員一人ひとりがステークホルダーから信頼・共感が得られるよう、前向きな風土づくりやマナー・法令遵守活動に取り組んでいます。2017年度はEラーニングや各職場で自己点検を含む実践活動を行いました。



コンプライアンス
意見交換会

◆リスクマネジメントの強化

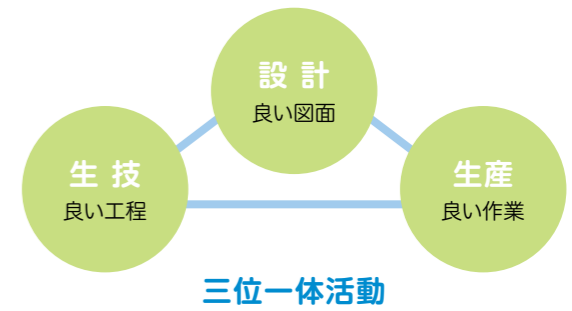
企業活動に関わるさまざまなリスクに迅速かつ確に対応するため、法令遵守活動やグループ関係会社の基盤整備・強化に取り組んでいます。防災対策については、事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) を定期的に見直し、人命最優先、早期復旧をめざした準備・訓練を進めています。



防災訓練

お客様とともに

「世界のお客様に世界No.1品質の製品・サービスを提供する」を品質方針に掲げ、お客様第一、品質第一の魅力ある製品づくりを推進しています。設計・生技・生産が開発の初期段階から連携する三位一体活動や、問題解決力向上への取り組みなど、品質風土の醸成に努めています。



ものづくり品質のグローバル監査(インド)



愛三グループによるQCサークル大会



品質展示会

主な表彰

受賞会社	お得意先	表彰名
愛三工業	トヨタ	プロジェクト表彰「技術の部」 部品標準化賞
	マツダ	品質実績優秀賞
FPI(米国)	TMNA(北米・トヨタ)	Value Improvement部門 エクセレントアワード賞
ATA(中国)	TFTM(天津・一汽トヨタ)	原価優秀賞・ものづくり推進賞
AFA(中国)	NCIC(中国・日産)	品質優秀賞
ANI (インドネシア)	TMMIN(インドネシア・トヨタ)	品質優良賞
	ADM(インドネシア・ダイハツ)	品質・納期優秀賞
AAI(インド)	TIEI(インド・豊田自動織機)	品質ベストサプライヤー賞

サプライヤーとともに

当社は「調達基本方針・グリーン調達方針」に基づき、品質・納期・コスト・環境に優れた「最適グローバル調達」をめざしています。

毎年4月には、調達方針説明会を開催し、当社を取り巻く環境や安全・品質・調達活動についてサプライヤーと方向性を共有するとともに、工程見学会や製品の機能・組付け方法などを学ぶ勉強会を実施し、改善を積み重ねています。



調達方針説明会



仕入先表彰

調達基本方針

1. オープン調達
当社は、国内外、取引実績の有無を問わず、Q・C・Dおよび技術開発力に優れたサプライヤーを選定します。
2. 相互信頼に基づく相互発展
当社は、品質向上および原価低減のため、製品開発段階から量産中のものでサプライヤーのノウハウによる改善提案をスピーディーに採用し、競争力のある製品づくりに取り組んでいます。
3. 現地調達の推進
当社は、お客様の要求に応えるべく、現地生産の拡大をはかっています。現地生産にあたっては、設備・資材・部品の現地調達を第一優先として活動しています。
4. 法の遵守
当社は、調達活動において、社会規範、法規を遵守しています。また、相互の機密情報の取扱いについて十分な注意を払っています。

グリーン調達方針

当社は環境方針に基づいて、環境に配慮しているサプライヤーから環境負荷の少ない部品、材料および副資材を調達しています。

紛争鉱物への取り組み

愛三グループでは、サプライヤーの協力を得ながら、サプライチェーンをさかのぼって紛争鉱物の使用状況を確認し、お客様からの問い合わせに適切に回答しています。

株主・投資家との対話

→ 財務情報はウェブサイトでご覧いただけます

株主・投資家との積極的なコミュニケーションに取り組んでいます。4月には社外Webサイトをリニューアルし、IRコンテンツの充実を図りました。また、機関投資家向けや総会後の施設見学会などを継続して開催し、当社への理解をより深めて頂くよう努めています。



名証IRエキスポに出展



株主総会後の施設見学会

従業員とともに

会社が持続的に成長していくためには、従業員やその家族の健康があつてこそ、との考えから「健康宣言」を新たに制定しました。新組織「安全健康推進センター」を中心に、健康への意識づけや職場活動の活性化を推進し、安全で健康な職場づくりに取り組んでいきます。

健康づくりにチャレンジ!

会社・労働組合・健康保険組合と一体で、健康づくりを支援します。

【取組み例】

- 特定健診受診率 (従業員家族) **UP**
- 特定保健指導者数 **DOWN**
- 喫煙率 **DOWN**

ワークライフバランス

心身ともに働きやすい職場環境をめざしています。有給休暇の計画取得やノー残業デーなど、ワークライフバランスを重視した効率的な働き方を推進しています。



ダイバーシティマネジメントの講習会



育児者交流会

人財育成

環境変化に強いグローバル人財の育成に取り組んでいます。技能者の育成を担う愛三学園は2017年に60周年を迎え、修了生は職場の中核人財として国内外で活躍しています。



海外拠点幹部研修



愛三学園60周年の記念講演会

地域社会とともに

地域に根差した企業として、環境保全や青少年育成、社会福祉などさまざまな地域貢献活動を推進しています。これからも「町いちばん」の会社となるよう、愛三グループ全体で地域との関わりを深め、信頼される企業をめざしていきます。



◆環境保全



クリーン活動



小学校のビオトープづくりに協力

◆青少年育成



あいち技能プラザへ出展



養護施設への寄付(インドネシア)

◆地域貢献



ふれあい祭り



大府市勤労文化会館の命名権を取得し「愛三文化会館」に

石田副社長(左)と岡村市長

スポーツ活動

陸上競技部



実業団チームの陸上競技部はニューイヤー駅伝に17年連続で出場。2017年は過去最高の10位と健闘しました。愛三レーシングチームは、UCIアジアツアーランキングトップをめざし、日本やアジア、欧州ツアーにも参戦しています。ランニング教室や自転車教室などのスポーツ教室は、競技の第一線で活躍する選手たちとふれ合える機会として子供だけでなく大人にも大人気のイベントです。

愛三レーシングチーム





安城工場のアゲハチョウ

工場の緑地は蝶などの憩いの場にもなっています。

Aisan
愛三工業株式会社



発行日 2018年8月(創刊2001年)

発行元 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1
愛三工業株式会社

お問合せ先 環境推進室 TEL.0562-48-6416
経営企画部 TEL.0562-48-6215

e-mail eco@aisan-ind.co.jp

ホームページ <http://www.aisan-ind.co.jp>